

1. 科目名(単位数)	体育（幼）（2 単位）		3. 科目番号	SJMP2280						
2. 授業担当教員	坂本 史生									
4. 授業形態	実技を中心に実施し、適宜講義(実技で扱えない領域・保健領域)やディスカッション、グループでの発表を行う。		5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係										
7. 講義概要	今の日本では生活習慣病の予防・改善や平均寿命の延伸などにより、運動やスポーツ、健康への関心が高まってきている。このことから、体育は生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために重要な科目となっている。また、子どもの体力は低下しており、幼児や児童の体力向上のために体育は重要な位置づけとなる科目である。 この授業では、小学校学習指導要領や幼稚園教育要領を踏まえ、教育現場で実際に指導を行える能力を学習していく。学習指導要領に応じて、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てることができるようになるとともに、健康の保持増進、体力の向上を養うための技能や知識を身につけ、指導できるようになることを目的とする。また、幼稚園教育の現場で行われる運動を指導できるようにすることを目的とする。 ・幼稚園「健康」・小学校学習指導要領における「体育」の目標、内容の概要を捉え、「健康」および「体育」の位置づけを理解する。さらに各領域におけるおもな運動を実技を通して経験することで、その運動特性を自身の身体で捉え、健康・体育指導に必要な最低限の技能を身につけることができるようにする。具体的には以下の①②に示す通りである。 ①正しい運動の方法を理解し、正しく運動ができるようにする。 ②ただし各種運動を指導するためのポイントを押さえ理解する。 ・さまざまな子どもたちにおける個に応じた実技指導やその評価計画について理解することができるようにする。									
8. 学習目標	本講義を履修することによって以下の項目を達成することを期待する。 1. 今日までの幼・小の体育授業の位置づけについて理解することができる。 2. 小学校体育科指導に際して各運動領域における基本的運動技能を理論的に学び、各種運動のポイントとなる動きを理解し、個の発達や特性に応じた指導方法を身につける。 3. 幼稚園教育の現場で行われる運動については、正しい指導ができるとともに基本的な運動の模範を見せることができるようにする 4. 体育指導を行う上での教師の留意事項や基本的な役割を身につけることができる。									
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	学習目標に到達するために、以下の課題に取り組む。 1. 運動や運動あそびに積極的に取り組み、指導のポイントや技能のポイントを体験的に理解する。 2. 具体的活動と知識を統合し、幼児期・学童期に必要な運動や運動遊びのあり方についてレポートを作成する。									
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】適宜配布する。 【参考書】 幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館 2018 小学校学習指導要領(平成 29 年告示)体育編解説 文部科学省 2017 幼児期運動指針 文部科学省 2012									
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 幼稚園教育の現場で行われる各運動領域における必要最低限の運動技能を身につけることができたか。 2. 幼稚園教育の現場で行われる運動については、正しい指導ができるとともに基本的な運動の模範を見せることができるようになったか。 3. 運動遊びの指導を行う上での教師の留意事項や基本的な役割を身につけることができたか。 ○評定の方法 <table><tr><td>1. 授業への積極的参加態度</td><td>50%（出席状況や意見発表を含む）</td></tr><tr><td>2. 課題レポート</td><td>20%</td></tr><tr><td>3. 実技試験</td><td>30%</td></tr></table> なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。 以上の結果を総合して評価をする。				1. 授業への積極的参加態度	50%（出席状況や意見発表を含む）	2. 課題レポート	20%	3. 実技試験	30%
1. 授業への積極的参加態度	50%（出席状況や意見発表を含む）									
2. 課題レポート	20%									
3. 実技試験	30%									
12. 受講生へのメッセージ	グループワークや運動あそびの実践など、他者との関わりの中での学習が多くなります。多様な視点、多様な考えに触れるためにも皆さん一人一人の積極的姿勢が重要です。積極的な学習への参加をお願いします。 また、授業内では運動や運動遊びの実践があります。その際には運動に適した服装で望むようにしてください。									
13. オフィスアワー	授業内で周知する。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第 1 回	オリエンテーション（本講義の目的と内容の確認）	事前学習	シラバスを確認し、講義の全体像を掴んでおく。							
		事後学習	本講義の目的や内容を振り返る。							
第 2 回	現代の子どもの体力・運動能力の現状と課題	事前学習	自分が子どもだったころと比べ、現代の子どもたちの体力・運動能力がどう変わってきているか資料を集める。							
		事後学習	現代の子どもの体力・運動能力の現状と課題について、自分なりの解決策を考えまとめる。							

第3回	運動やスポーツに関する子どもを取り巻く環境について	事前学習	子どもの運動やスポーツを取り巻く環境について、現状と課題に関する資料を集める。
		事後学習	子どもの運動やスポーツを取り巻く環境について、自身の住む地域ではどうなのか資料を集める。
第4回	小学校体育科の目標と内容について	事前学習	小学校学習指導要領解説（体育編）に目を通し、体育の目標や内容について自分なりの理解をしておく。
		事後学習	小学校体育の目標と内容について、整理してまとめる。
第5回	幼少期に身に付けたい36の基本動作について	事前学習	幼少期に身に付けたい運動の基本動作について、資料を調べておく。
		事後学習	幼少期に身に付けたい基本動作について、具体的な運動遊びと紐づけて考える。
第6回	運動あそびの実践と検討（体を移動する動き）	事前学習	体を移動する動きの具体的な事例をみて、コツやポイントを考えておく。
		事後学習	体を移動する動きの実践と検討を振り返り、コツやポイントを修正しまとめる。
第7回	運動あそびの実践と検討（体のバランスをとる動き）	事前学習	体のバランスをとる動きの具体的な事例をみて、コツやポイントを考えておく。
		事後学習	体のバランスをとる動きの実践と検討を振り返り、コツやポイントを修正しまとめる。
第8回	運動あそびの実践と検討（多様な動き）	事前学習	多様な動きの具体的な事例をみて、コツやポイントを考えておく。
		事後学習	多様な動きの実践と検討を振り返り、コツやポイントを修正しまとめる。
第9回	運動あそびの実践と検討（用具を操作する動き）	事前学習	用具を操作する動きの具体的な事例をみて、コツやポイントを考えておく。
		事後学習	用具を操作する動きの実践と検討を振り返り、コツやポイントを修正しまとめる。
第10回	運動あそびの実践と検討（体づくり運動）	事前学習	体づくり運動の具体的な事例をみて、コツやポイントを考えておく。
		事後学習	体づくり運動の実践と検討を振り返り、コツやポイントを修正しまとめる。
第11回	運動あそびの実践と検討（器械・器具を使った運動）	事前学習	器械・器具を使った運動の具体的な事例をみて、コツやポイントを考えておく。
		事後学習	器械・器具を使った運動の実践と検討を振り返り、コツやポイントを修正しまとめる。
第12回	運動あそびの実践と検討（ボール運動）	事前学習	ボール運動の具体的な事例をみて、コツやポイントを考えておく。
		事後学習	ボール運動の実践と検討を振り返り、コツやポイントを修正しまとめる。
第13回	運動あそびの実践と検討（陸上運動）	事前学習	陸上運動の具体的な事例をみて、コツやポイントを考えておく。
		事後学習	陸上運動の実践と検討を振り返り、コツやポイントを修正しまとめる。
第14回	運動あそびの実践と検討（表現運動）	事前学習	表現運動の具体的な事例をみて、コツやポイントを考えておく。
		事後学習	表現運動の実践と検討を振り返り、コツやポイントを修正しまとめる。
第15回	本講義の振り返りとまとめ	事前学習	講義全体を振り返っておく。
		事後学習	講義全体を振り返り、幼児期の運動や小学校体育で大切なことをまとめる。